

# 米 寄付のお願い

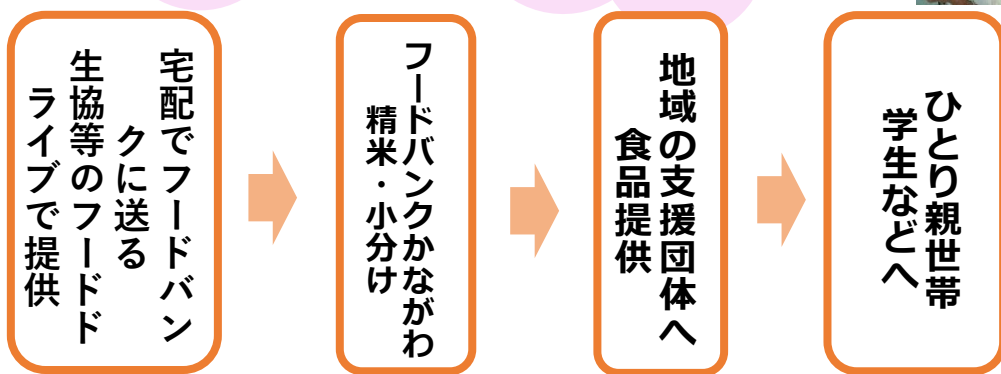
フードバンクかながわ  
Oh米こめクラブ

## コロナ禍での食支援を米寄付で応援



家庭にある食べきれない食品をフードバンクに持ち寄り、ひとり親世帯や学生など食支援が必要な方を支援します。フードバンクかながわでは、特にお米の提供を行う(Oh米こめクラブ)を呼び掛けています。今年は4-6月で10トン(昨年の2.5倍)のお米を提供しましたが、ニーズはさらに増え、**お米が足りません!**お米は玄米でも精米でも構いません。親戚などからの頂き物で販売用の袋に入っていないなくても構いません。フードバンクかながわで精米後、小袋に詰め直して提供します。コロナで仕事がなくなり困窮状態にある子どもの支援として、ひとり親(特にシングルマザー)世帯、学生などに支援をお願いします。

【Oh米こめクラブ: 米に特化して集めるクラブ キャプテン: 小林薫】



なぜ  
ひとり親支援  
なのでしょう?

新型コロナウイルス感染症対策で様々な事情により食べることに困っている人がいます。中でもひとり親世帯(特に母子)は就労の収入が少ない方が多いことが調査からわかります。

平均収入:  
全世帯の50%

貧困率: 50%

横浜市での貧困  
率: 50%

母子世帯の平均収入は283万円  
で全世帯平均551万円の半分  
(厚労省平成30年)

二人親世帯の貧困率6%  
に対し母子世帯は51%  
(労働政策研究・研修機構)

横浜市のひとり親世帯の半数  
が困窮状況にあると推計  
(横浜市子どもの貧困対策に関  
する計画)

一袋1.5kg  
⇒1.2kgに減  
量し対応せざ  
るを得ません。

〈しんぐるまざーずふぉーらむ〉が新型コロナで影響を受けたひとり親世帯に行った調査によると母子世帯の○60%の世帯が収入減 ○15%の世帯が収入がなくなった○「食費を削ることしか節約の方法がない」、「親子とも一日1食」などの深刻な回答もあった。フードバンクにも切羽詰まっているという声の子聞こえてくる。

フードバンクかながわはお米を集め、支援団体に提供しています

主な提供先

横浜市ひとり親支援、横浜市社協学生支援・ひとり親支援、相模原市学生支援、川崎市社協生活困窮者・外国籍につながる人支援、横須賀市学生支援、地域のフードバンク、パントリー活動ほか

公益社団法人フードバンクかながわ  
236 - 0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45  
TEL 045-349-5803